

7) 水質（定期観測）

【参考資料 I -136 参照】

評価項目	視点	平成 28 年度の調査結果概要
経年的な変化状況	生活環境項目等の時間変化 (定期調査)	・ pH、SS、DO、BOD は環境基準値（河川 A 類型）を概ね満足し、安定的に推移している。なお、7 月から 8 月の pH、濁度、SS 及び DO の数値が少し高いのは、出水の影響と思われる。 ・ みお筋部撤去後も、過去データと比較して大きな変化はみられない。

※荒瀬ダム直上流は、平成 22 年度までは月 2～5 回の頻度、平成 23 年度以降は月 1 回の頻度で実施。

瀬戸石ダム下流、破木橋（百済木川）、道の駅坂本は、平成 21 年度までは月 2～5 回の頻度、平成 22 年度以降は月 1 回の頻度で実施。





